



神崎二山笠愛好会(神崎)

平原山笠(金田)

六区山笠(金田)

宝見山笠(金田)

町部山笠(金田)

上金田山笠(金田)



【金田稲荷神社神幸祭・山笠競演会フォトレポート】

継がれゆく鼓動

身も心も祭りにささげた2日間、今年も祭囃子が町を秋色に染めた。

華麗なバチ捌きで重厚なリズムを刻む太鼓の響きと高貴で気品漂う囃子の音色。町を独特の高揚感で包み込む待ちわびた祭典が、今年も盛大に行われた。金色の山笠が姿を現し、武者人形が太刀をかざす。昼夜に渡って繰り広げられたこの2日間を、写真と共に振り返る。

鳴

響く囃子の音色が、脈々と受け継がれてきた「血」をたぎらせ、鼓動を高鳴らせる。稲荷神社神幸祭と山笠競演会が金田地区で10月15日から2日間行われ、伝統と格式ある祭事を一年ぶりに謳歌した。昼間は各地域で出発式を終えた5基の山笠が稲荷神社に集結。勇壮な山笠が見守る中、獅子が髪を振り乱して舞い、厳かな神事がとり行われた。今回で10回目となる競演会では、光彩を放つ山笠が祭りの夜を華麗に彩り、2日間で延べ1万人の観客を動員。重さ約5トンの山笠を操るかき手に、惜しめない歓声と拍手が送られた。今年、競演会に初参加し、注目を浴びたのが福丸地区の「神崎垣田山笠会」。地区の青年団が中心となり、競演会への参加を熱望。念願叶い、自慢の練り回しや迫力の旋回で観客を魅了した。



神崎垣田山笠会(神崎)
黄緑色のそろいの法被に身を包み、勇ましいかき手たちが躍動した垣田山笠会。初参加とは思えないほど他の山笠と融合し、熱い夜をさらに盛り上げた。



1 2 3 4 約400年以上続く稲荷神社神幸祭の神事。お上り・お下りでは、町指定無形民俗文化財の獅子楽をはじめ、巫女の優雅な舞いや崇高な御輿行列などが行われ、祭りの核として伝統行事に花を添えた。5 地域住民による炊きだしが早朝から行われ、休憩所がかき手たちを元気づけた。6 御旅所の菅原神社で5基の山笠が集結し、神事を見届けた。7 五穀豊穡や子孫繁栄などを願うのぼり旗。

